岩盤ボーリング柱状図

調査名	二級河川沼田川水系関屋川支川　災害関連緊急砂防事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県三原市小泉町			北緯	34° 21′ 34.7300″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			調査期間	2021／10／13～2021／10／14	東経	132° 58′ 36.2900″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 69.58m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦製DO-DRXSO
総削孔長	8.00m								エンジン：ヤンマーNFD-10MK1　ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				玉石混じり砂礫	茶褐～灰褐								φ10～50mmの礫主体。砂は細～中砂主体。玉石はL=2～20cmで，硬質な花崗岩玉石である。GL-2.0～2.8m間，砂主体になり，φ10～30mmの亜角礫を全体に含む。GL-2.8～3.0m間は，L=5～10cmの玉石である。	10/13 1.00 1.32
2														
3	66.58	3.00												
4	64.68	4.90		礫混じりシルト質砂	茶褐								細～粗砂主体。細粒分含み，含水高い。φ10～40mm程度の亜角礫を全体に含む。GL-4m付近，風化礫含む。	
5				風化花崗岩	淡褐灰	w5	h3	E	VI	d	D	0 [0] (100)	DH級の粗粒花崗岩。風化著しく，砂状～礫状コアで採取される。岩組織は明瞭に残す。長石の粘土化が見られる。指圧で容易に崩壊する。	
6												0 [0] (100)		
7												0 [0] (100)		
8	61.58	8.00												
9														
10														
11														
12														
13														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
15	1.15	15		
	1.45	300		
8	2.15	8		
	2.45	300		
30	3.15	30		
	3.45	300		
28	4.15	28		
	4.45	300		
50以上	5.15	50	220	
	5.37	220		
50以上	6.10	50	160	
	6.26	160		
50以上	7.10	50	170	
	7.27	170		
50以上	8.00	50	20	
	8.02	20		

深度－N値図

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	95	66／ケーシング	N/ダイヤ	0	120	1	W3 15	15
			S/メタル	0	60	0	W1 0	0
			N/ダイヤ	0	120	1	W3 15	15
			S/メタル	0	60	0	W1 0	0
			N/ダイヤ	0	120	1	W3 15	15
			S／メタル	0	60	0	W1 0	0
10/13		66	N/メタル	0	60	1	W3 15	15
10/14	14		W／メタル	0	60	1	W3 15	15